

教育実習を終えて

～2026 年度教育実習生の皆さんに聞く～



今年度の教育実習が、5月25日(月)から6月12日(金)までの3週間(一部の実習生は2週間)、金井高校で行われました。実習を終えたばかりの実習生の皆さんに、感想や思い出についてアンケートに答えていただきました。

※掲載は教科順・50音順

【アンケート質問項目】

- ①卒業年(期)・3年次のクラス担任
- ②担当教科、HR担当クラス、指導教官
- ③自分の高校時代の思い出
- ④実習をしてみたの金井生の印象
- ⑤授業をやってみたの感想
- ⑥実習中の思い出に残るエピソード
- ⑦実習全体を通しての感想ほか

木村 磨騎志先生

①金井高校第45期(2022年3月)卒業

・3年2組(玉越 夕貴先生級)

②担当教科:国語科(指導教官:古宮 康子先生)

／担当HRクラス:1年5組(指導教官:熊本 ゆい先生)

③〔高校時代の思い出〕1年次の文化祭で、クラス企画としてカジノを運営したことが印象に残っています。私はディーラーを担当し、ルール説明やゲームの進行を行いました。お客さんに楽しんでもらえるよう工夫しながら活動し、仲間と協力して成功させたことが特に思い出深いです。

④〔金井生の印象〕教育実習を通して、金井生はとても元気がよく、明るい印象を受けました。廊下でのすれ違いざまや、授業の始めと終わりにはしっかりと挨拶をしており、学校全体に活気が感じられました。また、授業中にはこちらの話を素直に聞き、指示にも前向きに取り組む姿が多く見られました。分からないことがあれば積極的に質問したり、友達と協力して考えたりする様子も印象的でした。生徒たちの素直さや意欲的な姿勢のおかげで、私自身も安心して授業に取り組むことができました。

⑤〔授業の感想〕教育実習では、1・2年生の国語科「言語文化」の授業を担当しました。実際に授業を行ってみて、教材研究や授業準備の大切さを改めて実感しました。事前に十分準備したつもりでも、生徒の反応は予想通りにいかないこともあり、その場で説明の仕方を工夫したり、発問を変更したりする必要がありました。また、生徒一人ひとりの理解度や反応を見ながら授業を進めることの難しさも感じました。一方で、生徒が発問に対して積極的に考えたり、理解した内容を自分の言葉で説明したりする姿を見ることができ、大きなやりがいを感じました。今回の経験を通して、教師には教科の知識だけでなく、生徒の状況に応じて柔軟に対応する力が求められることを学びました。今後も学び続けて、より理解しやすい授業ができるように努力していきたいと思えます。

⑥〔実習中のエピソード〕教育実習中で最も思い出に残っているのは、体育祭と最後の授業での出来事です。体育祭では赤組に所属し、生徒たちや他の実習生と一緒に優勝を目指して声が枯れるほどまで応援しました。競技の最中に大きな声で仲間を応援し、勝敗に一喜一憂する生徒たちの姿を見ているうちに、私自身もすっかり赤組の一員として参加している気持ちになりました。そして、赤組の優勝が決まった瞬間は本当に嬉しく、生徒たちと喜び合った瞬間は今でも鮮明に覚えています。さらに、体育祭当日やその前日に、ホームルームや授業担当している他のクラス・学年の生徒たちが、クラスTシャツにたくさんのメッセージやイラストを書いてくれました。一人ひとりの言葉に目を通しながら、「この学校に来て良かった」と心から感じました。今でもそのTシャツは大切に保管しています。また、最後の授業後に回収した授業感想の中に、「古文が好きになった」と書かれているのを見つけたときのことも忘れられません。実習中は、ど

うすれば生徒たちに古典の内容を理解してもらえるのかということや、その面白さが伝わるのかについて悩みながら授業案を作成していました。うまくいかず反省することも多かったからこそ、その一言を見た瞬間、それまでの苦労が報われたような気持ちになりました。教員の仕事は知識を教えるだけではなく、生徒の興味や学ぶ楽しさを引き出すことなのだと実感した出来事でした。生徒たちと過ごした3週間は、楽しいことも悩んだことも含めて、大切な思い出になっています。

⑦〔**全体の感想**〕教育実習の3週間は、これまで大学で学んできたことを実際の教育現場で確かめることができた、とても貴重な時間でした。実習が始まる前は、授業をきちんと行えるだろうか、生徒と上手く関われるだろうかという不安でいっぱいでした。しかし、実際に学校で過ごしてみると、生徒たちは毎日明るく挨拶をしてくれ、授業にも前向きに取り組んでくれました。その姿に支えられながら、一日一日を過ごしていくことができました。特に印象に残っているのは、授業づくりの難しさと面白さです。教材研究を重ねて準備したつもりでも、自分が思った通りに授業が進まないことも多くありました。発問の仕方や説明の順番一つで生徒の反応が大きく変わることを実感し、授業を作ることの奥深さを学びました。その一方で、生徒が自分の発問に対して真剣に考えてくれたり、反応してくれたりしたときには、大きなやりがいを感じました。また、授業だけでなく、体育祭や日常の何気ない会話を通して生徒たちと関わることができたことも大きな思い出です。実習最終日には別れを惜しんで声を掛けてくれる生徒もおり、短い期間ではあったものの、信頼関係を築くことができたのだと感じました。この3週間を通して、教員という仕事の責任の重さと同時に、その仕事だからこそ味わうことのできる喜びを知ることができました。上手くいかなかったことや反省点もたくさんありますが、それ以上に「もっと成長したい」「もう一度教壇に立ちたい」と思わせてくれる経験でした。教育実習で学んだことを忘れずに、これからも努力を続けていきたいと思っています。

杉 澤 咲先生

①金井高校第46期(2023年3月)卒業

・3年1組(中野 勝延先生級)

②担当教科:国語科(指導教官:山本 圭一先生)

／担当HRクラス:1年1組(指導教官:山本 圭一先生)

③〔**高校時代の思い出**〕金井祭は特に忘れられない思い出です。私の高校時代はコロナ禍ということもあり、様々な制限があったことを覚えています。制限がある中で上手くいかないこともありましたが、与えられた状況でやりきることの大切さを学びました。2年生の時に金井祭のクラス係だったことや、クラスの出し物、後夜祭、、それまでの過程を含めて今となっては良い思い出となっています！

また、私は高校時代剣道部に所属していたので、3年間の部活の経験も忘れられないです。自分の代が加入した時に先輩がいなかったのも、一から部活をつくったことや部員が少ない中での活動だったので悩むこともあったのですが、部活動で学んだ経験は今でも活きていると思います。ご指導いただいた辺見先生、中村先生には感謝の気持ちでいっぱいです。

先日現役の剣道部の皆さんと集まる機会があり、その時に当時を共にした仲間とも再会することができました。楽しいことばかりではなかったけれど、今笑って語り合えるようになったことが本当に嬉しいです！部活を通して大切な仲間ができました。

④〔**金井生の印象**〕金井生はすごく真面目で誠実な子が多いなと思いました！授業中は真剣な眼差しでこちらを見つめてくれるんですけど、廊下ですれ違ふと元気よく挨拶をしてくれたり休み時間は色々な話をしてくれたり、ある意味ギャップを感じました！優しい心をもった金井生の皆さんと3週間過ごすことができて本当に楽しかったです！

⑤〔**授業の感想**〕初めて授業を行った日は緊張していましたが、どのクラスに行ってもいつも温かい目で授業を受けてくれて私も安心して楽しく授業をできるようになりました！金井生の皆さんはとても優しく、私が雑談を話すと笑顔で聞いてくれたりグループワークなども積極的に動いたりしてくれて「金井生素敵だなあ」と思いながら毎回授業をしていました。最初は緊張していましたが、授業回数を重ねるにつれてどんどん楽しくなりました！毎回楽しく授業ができたのも生徒の皆さんのおかげだと思っています。ありがとうございました！

⑥〔**実習中のエピソード**〕実習期間に教育に興味がある生徒と実習生との懇談会があったのですが、その中に私が授業を担当している1年生が何人かいました。国語志望の生徒が多く、同じ国語科として嬉しく思ったのですが、その後授業をした時に「先生の授業面白いです！」

「先生みたいな楽しい話ができる先生になりたい」と言ってくれる生徒が何人かいて驚きました。私もまだまだ学び続けなきゃいけないなと思いましたし、何より教員という仕事に、そして国語に興味をもってくれたことが嬉しかったです。

⑦〔**全体の感想**〕金井での実習は本当に毎日楽しかったです！上手いかないこともありましたが、多くの先生方や生徒の皆さんのおかげで無事に終わることができたと思います。関わってくださった全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。いつかまた金井に戻ってこられるように、これからも学び続けます！

今井 将斗先生

①金井高校第46期(2023年3月)卒業

・3年6組(川上 潤先生級)

②担当教科:地歴・公民科(指導教官:西川 裕一先生)

／担当HRクラス:1年8組(指導教官:西川 裕一先生)

③〔**高校時代の思い出**〕思い出に残っていることは、高校3年生の体育祭と文化祭です。体育祭では、応援団に所属して副団長として団を率いて、競技内でのダンスパフォーマンスや同じ団の生徒を全力で応援したりと、前年と比較しても印象深く残っているためです。文化祭では、夏休みなども学校に行って準備するなど、時間をたくさん費やした行事だと感じていて、それが故に来客の方にも楽しんでもらえたり、どのクラスよりもクオリティの高い出し物ができて、クラスの仲をより深めることにも繋がったからです。

④〔**金井生の印象**〕いちばん印象に残っているのは、とても素直で気さくに色々なことを話してくれるということです。授業内で、私が生徒へ向けて発問した際に、色々な考え方を持って話し合いをしてくれる場面や、その意見を私にすぐに伝えてくれる場面などを体感して、色々な知恵を持っている子が多いなと感じました。また、休み時間においても、生徒が見かけてくれれば私の名前を呼んでくれたりと、実習期間中で色々な生徒の素直な部分を見ることができました。

⑤〔**授業の感想**〕授業については、前述したように素直な生徒が多くいるため、とても穏やかな雰囲気を進めることができたなと感じています。特に、研究授業などでは、生徒たちが緊張していつものペースを進めることができるかという不安を抱えていましたが、いざ授業が始まるといつも通りリラックスして授業に臨んでくれたのもあり、臆することなく授業ができました。しかし、授業の準備などについては想像よりも難しいなと感じる部分は多くあり、発問はどのようなものが適切か、この部分を伝えるにはどの表現がよいか、など伝えること1つに対して考えこむ時間が多くあり、授業作りの壁の高さを実感することにも繋がりました。また、大学の授業内での模擬授業と実際に生徒たちへ授業するのとでは、授業の進行スピードや接し方も大きな差がでるなという印象を持つことができました。生徒たちが楽しいと感じる授業を作るためには、まずは私たち教師側が楽しむことを意識して、その楽しさを生徒たちへ共有するサイクルを生み出すことが、授業をする際にもっと考えていかないとだなと感じるものでした。

⑥〔**実習中のエピソード**〕実習期間中は、毎日たくさんの思い出に囲まれた日々を過ごすことができて、実習をする前よりも倍以上の楽しさを得て期間を終えることができたなと感じています。その中でも、最終日に生徒たちから色紙などのプレゼントをいただいたのはこの先も忘れることのない何よりの思い出になりました。正直、授業で生徒たちへうまく伝えることができているかや、他の実習生と比べて生徒たちとの関わりが少ないのかなというような不安を多く抱えていて、私から生徒たちへ伝えたいことがしっかり伝わっているのかなというモヤモヤが残った状態で最終日を迎えることになり、結果的に最高の形で実習を終えることができて、自宅に帰ってから色紙の文章を見たのですが、授業がわかりやすかったや、休み時間もたくさん話してくれて嬉しかったなど、私の不安に思っていることが一気に解消されたような気がしていて、私の言いたいことは生徒たちへ届いていたんだなとより実感することができました。生徒たちからプレゼントをいただいたその時は、笑って生徒たちへ最後の挨拶をしたいなと考えていたのでとても泣きそうだった気持ちを抑えて涙を見せずに生徒たちとの時間を過ごしていましたが、いざ色紙を読んでもみると涙が止まりませんでした。それくらい思い出に残るエピソードであり、今後も忘れることのない宝物として周りの友人にも自慢できる思い出になりました。

⑦〔**全体の感想**〕実習期間を経て、1番は生徒との関わり方を学ぶことができたなと感じています。私は教師になりたい理由として、「生徒たちの将来を正しい道へと導くこと」「生徒が将来などの不安を抱えた際のツールとして頼ってほしい」という2つを軸にして今日まで教師と

いう夢を追い続けています。実習から日常へ戻ってきて、その教師という夢はより大きなものへと膨らみました。その1つが、生徒との関わり方を学べたことに繋がりました。3週間という短い期間でも、生徒の特性や個性を学ぶことができ、色々な話をしてもらえくらいの関係性になりました。その関係性を構築できているからこそ、生徒たちからすればその延長線上に「不安や悩みを気軽に相談できる人」として教師を頼る理由があるんだと感じました。生徒の不安や悩みは簡単には解決できないのもだと思っています。だからこそ、教師になったら「生徒との関わり」に1番に時間を使ってあげたいと考えています。実習期間でその経験を積めたのは、私が教師になった際にとっても有効的な知識として活用できると思うし、生徒に限定せず色々な人との関わりにおいて用いられると感じています。この実習を経験して、私の教師になりたいという夢をより現実的にしてくれた生徒たちには感謝しかないですし、授業作りにおいて親身になって1から10まで教えていただいた先生方にもとても感謝しています。この3週間は今までの人生で最も濃い期間であるとともに、自身の成長をとっても感じられる期間になりました。

鈴木 瑠太先生

①金井高校第46期(2023年3月)卒業

・3年7組(山田 阿有美先生級)

②担当教科:地歴・公民科(指導教官:大内 拓先生)

／担当HRクラス:2年5組(指導教官:大内 拓先生)

③【高校時代の思い出】3年生の体育祭と文化祭です。新型コロナウイルスの影響が少しずつ緩和され、制限の少ない形で行事を楽しむことができた最初の年だったため、とても思い出に残っています。

④【金井生の印象】みんな明るく素直で、学校生活を全力で楽しんでいる姿が印象的でした。授業や学校行事には積極的に参加し、分け隔てなく支え合いながら活動する姿から、学年やクラスの良い雰囲気を感じることができました。また、実習生である私にも積極的に話しかけてくれたため、すぐに学校生活に馴染むことができました。本当に良い生徒たちだと感じました。

⑤【授業の感想】授業はとても楽しかったです。生徒参加型の授業が多かったため、生徒から出る予想外の意見や発想に驚かされることも多く、楽しみながら授業を行うことができました。一方で、実際の授業づくりでは、学習目標や生徒への配慮などを計画段階から丁寧に考える必要があることを学ぶことができました。特に生徒参加型の授業では、生徒にどのような考えにたどり着いてほしいのかを明確にし、そのためにどのような発問や活動を設定するかを考えることの難しさを感じました。

⑥【実習中のエピソード】何とんでも体育祭です。県立スポーツセンターのような大きな会場で体育祭を行ったのは初めてだったため、その規模の大きさに驚きました。また、生徒たちが体育祭に向けて一生懸命準備してきたことが伝わり、私自身も久しぶりに大きな声で応援しました。その結果、数年ぶりに喉が枯れ、声が出なくなってしまったことも良い思い出です。

⑦【全体の感想】実習全体を通して、まずは教育実習生として受け入れてくださった金井高等学校の教職員、生徒、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。また、指導教官の大内先生をはじめ、相談に乗ってくださった社会科の先生方、そして担当させていただいた2年5組の皆さんにも重ねてお礼申し上げます。

3週間という短い期間でしたが、本当にあっという間に感じられるほど充実しており、楽しく過ごせる夢のような日々でした。実習が終わりに近づくにつれて、「もっと金井高校にいたい」と感じるほど、毎日が充実していました。母校で教育実習を行うことができ、多くのことを学ぶとともに、改めて金井高校の素晴らしさを実感することができました。私にとって忘れることのできない貴重な経験となりました。

中村 忠先生

①桐蔭学園高等学校 2017年3月卒業

②担当教科:数学科(指導教官:前沢 颯人先生)

／担当HRクラス:2年3組(指導教官:前沢 颯人先生)

③【高校時代の思い出】私の高校時代の思い出は文化祭です。クラスで大きな世界遺産の壁画を作ったことが印象に残っています。

④【金井生の印象】授業中は真面目に話を聞いてくれて、休み時間では友達同士で楽しそうに話していて、メリハリがしっかりしている印象です。

また、生徒が私に積極的に声をかけてくれたり、授業後に質問や感想を伝えてくれたりしました。最初は教育実習生という立場で、生徒と仲良くなれるか不安でしたが、日が経つにつれて信頼関係ができていくのを実感でき、とても嬉しかったです。

体育祭のときは、みんなが団結して最高の1日にしようという強い思いが伝わってきました。今後の学校生活等頑張ってください。

⑤【授業の感想】私は初めて、教壇にたって授業をしました。実際に授業をしてみると、自分ではわかりやすく授業をしたつもりでも、生徒の反応を見ると伝わっていないことがあり、教えることの難しさを実感しました。特に数学という科目は、解き方を説明するだけでなく、生徒にどうしてそうなっているのかを理解してもらうことが大切だと感じました。生徒がうなずきながら聞いてくれたり、分かりましたと言ってくれた時は本当に嬉しかったです。自分の授業が少しでも役に立ったのかなと感じました。指導教員の先生方から多くのアドバイスをいただき、自分の授業スタイルを見つけ出すいい機会になりました。

⑥【実習中のエピソード】私が一番印象に残ったエピソードは、体育祭です。特に印象に残っているのは、競技の結果だけではなく、団やクラス全体で協力して準備したり応援したりする姿でした。思うような結果にならなかったとしても、仲間を励ましている様子を見て、高校生ならではのエネルギーや団結力を感じました。実習生として参加すると、先生を応援して下さいなど、声をかけてもらったのも嬉しかったです。授業だけでは分からないクラスの雰囲気や生徒の人柄を知ることができ、体育祭は実習期間の中でも特に思い出に残りました。

⑦【全体の感想】教育実習全体を振り返ると、本当にあっという間でした。教育実習に行く前は授業がしっかりできるか不安でしたが、実際にやってみると、授業作りや生徒対応など想像以上に考えることが多く、教師という仕事の大変さを実感しました。

一方で、それ以上のやりがいも感じました。生徒に分かりやすかったと言ってもらったり、休み時間に話したり、体育祭で一緒に応援したりと、少しずつ信頼関係ができていくのが嬉しかったです。大変なこともありましたが、それ以上に学びが多く、人としても成長できた教育実習でした。ありがとうございました。

水越 杏先生

①金井高校第46期(2023年3月)卒業

・3年7組(山田 阿有美先生級)

②担当教科:数学科(指導教官:渡瀬 大介先生)

／担当HRクラス:2年2組(指導教官:渡瀬 大介先生)

③【高校時代の思い出】私は吹奏楽部に所属していました。2年生のときには東関東コンクールに出場し、貴重な体験をさせていただきました。私の中で1番印象に残っている場面は、この貴重な体験をさせていただく前のコンクールオーディションです。私はクラリネットという楽器を担当していました。後輩もいる中で私はこのオーディションで落ちました。とても悔しかったです。しかしこの出来事はバスクラリネットという低音の楽器に出会うきっかけでもありました。バスクラリネットに出会ってから私は技術が上達したのもあり、以前より演奏することを心から楽しんでいたと思います。オーディションに落ちていなかったら、本格的にバスクラリネットを演奏することはなかったと思うので、1つの大きな分岐点だったのではと考えています。

④【金井生の印象】初日から廊下で元気に挨拶してくれる生徒が多く、驚きました。また、初日になかなか話しかけられなかった私に話しかけてくれる生徒もいて優しさも感じました。そして、授業で隣の人と話し合ってみてと言うと意欲的に取り組む生徒が多く、授業中のリアクションからも素直で元気な生徒が多い印象があります。

⑤【授業の感想】私の中で生徒が数学の楽しさを感じることができる授業をするという理想があります。しかし、内容を生徒に伝えることに必死で、その理想を実現させるのはとても難しかったです。生徒がどんなところでつまづくのか。それをどうフォローするのか。教え方についてこれからもっと探究していかないといけないと感じさせられました。

⑥【実習中のエピソード】実習期間中、生徒のことを知るためにアンケートをとったり、クラスで音楽紹介のポップを作ってみたりなど私なりに生徒と距離を縮める方法を考え実行していました。生徒がポップをみて話しかけてくれたときはとても嬉しかったです。また、体育祭の大縄の練習のとき、私も生徒と一緒に飛ぶと想像以上に盛り上がり、生徒との距離が少し縮まったように感じて印象に残っています。

⑦【全体の感想】初めて教師という立場で生徒と接する3週間でした。教師は会議や授業、生徒指導などやることが多く忙しいことを実感しました。しかし、生徒のことを真剣に考えていて、その分、生徒の笑顔がこの仕事のやりがいであることを知ることができました。また、3週間という短い期間でしたが、教師として自分に足りないものが明確になったので、これから理想の教師になれ

るように頑張っていきたいと思います。

五所 優樹先生

①平塚学園高等学校 2023年3月卒業

②担当教科:理科(指導教官:田村 睦彦先生)

／担当HRクラス:1年4組(指導教官:田村 睦彦先生)

③【高校時代の思い出】高校時代の思い出は、7:30から18:30まで授業があった学校生活です。朝5:50に家を出て通っていた生活は物凄く懐かしいです。当時はきつすぎて学校をやめたいと思いましたが、今になってみると物凄く良い思い出です。

④【金井生の印象】金井生の皆さんは「素直」で「挨拶」が素晴らしい学生だと思いました。

授業中に分からない部分、先生側がうまく説明できなかったと思った部分で、しっかりと分からない反応、陰い反応を見せてくれます、逆に「分かった!」となると、なるほどという反応であったり、授業に釘付けになってくれます。そして「挨拶」は、ほとんどの生徒がしてくれて、自分も挨拶を受けるたびに嬉しい気持ちになりました!

⑤【授業の感想】みんなが楽しく授業を受けてくれて嬉しかったです!金井生の皆さんが積極的に授業を受けてくれた結果として、楽しい授業になったと思っています!

⑥【実習中のエピソード】実習生の控室です。授業がうまくできなかった後に控室に戻ると、音楽担当の教育実習生を中心に慰めてくれました。また、高校が違うのに、まるで一緒の代で卒業したかと思うくらい、僕のことを受け入れてくださいました。金井生は、卒業生も含めて素晴らしい方がいっぱいです(^▽^)/

⑦【全体の感想】とにかく楽しい3週間でした。毎日があつという間でした。一番印象に残っているのは、体育祭です。1-4の生徒たち、科目を持っている生徒たちが一生懸命に頑張っている姿をみて本当に感動しました。また、田村先生と毎日、校歌を歌いながら1-4のクラスに向かっていましたので、校歌を覚えてしまいました(笑)

鈴木 康生先生

①金井高校第46期(2023年3月)卒業

・3年2組(谷屋 芙由美先生級)

②担当教科:保健体育科(指導教官:<保健>村山 明夫先生/<体育>山崎 滋彦先生)

／担当HRクラス:2年9組(指導教官:村山 明夫先生)

③【高校時代の思い出】高校時代の一番の思い出は、部活動です。入部当初から目標に掲げていた「県大会ベスト8」に進出できたことは、本当に嬉しい経験でした。中学校の頃と大きく異なり、専属の指導者がいない環境での練習が非常に印象に残っています。インストラクターの永瀬さんという方に指導していただくこともありましたが、毎日見ていただけるわけではありませんでした。そのような限られた状況の中でも、自分たちで考えて練習に取り組み、目標を達成できたことが、この経験が深く思い出に残っている理由です。

④【金井生の印象】非常に「素直」な生徒が多いという印象を受けました。こちらが伝えたことに対して、真っ直ぐに向き合ってくれる素晴らしい生徒が多いと感じています。

⑤【授業の感想】実際に教壇に立ち、保健と体育では指導のアプローチが大きく異なると実感しました。保健の授業では、学習内容を「実生活にどう関連づけるか」を重視しました。単なる知識の伝達にとどまらず、それを生徒自身の生活に落とし込み、意図的に日々の生活へ取り入れてもらう流れを意識して授業を展開しました。一方、体育の授業では、「無意識のうちにできるようになること」を目指しました。段階的な練習方法や動作のポイントを提示し、実際に身体を動かす中で、いつの間にか技能が身についている状態を引き出せるよう心がけました。このように、保健における「意図的な理解」と、体育における「無意識の習得」というアプローチの違いを使い分ける点に、実践を通じた授業づくりの難しさを感じました。

⑥【実習中のエピソード】実習中の一番の思い出は、バレーボール部のインターハイ予選です。今回の予選では、コーチとしてベンチに入らせていただく機会を得ました。選手としてではなく、指導者の視点から試合を見ることは、普段とは異なる景色であり、非常に新鮮で深い学びがありました。チームは1回戦こそ勝利を収めたものの、2回戦で惜敗してしまいました。私はこれまで、「スポーツは娯楽であり、勝ち負けよりも楽しむこと自体に価値がある」と考えていました。しかし、指導者として敗戦の悔しさを共有した時、選手時代とは全く異なる感情が芽生えました。単なる悔しさにとどまらず、「この手で、一から選手たちを育て上げてみたい」という、指導者と

しての強い意欲が突き動かされるのを感じた、忘れることのできない経験です。

⑦〔全体の感想〕教育実習全体を通して、教師という仕事の持つ魅力を深く実感することができました。実習に臨む前は、教師という職業の「やりがい」がどのような処にあるのか、明確にはイメージできていない状態でした。しかし、日々の授業実践や部活動の指導、そして生徒たちとの関わりの中で、そのやりがいを肌で感じることもできたと考えています。現場での貴重な経験を経て、今では教育実習に参加させていただいて本当に良かったと、心から感じています。

宮森 千怜先生

①金井高校第46期(2023年3月)卒業

・3年2組(谷屋 芙由美先生級)

②担当教科:音楽科(指導教官:大塚 由美先生)

／担当HRクラス:2年1組(指導教官:大塚 由美先生)

③〔高校時代の思い出〕2年生のときに出場した東関東大会で金賞を受賞したことが、最も印象に残っています。初めて東関東大会に出場できたことはもちろん、コロナ禍で修学旅行が中止となっていたため、遠征で仲間と宿泊できたことも良い思い出です。大会に向けて努力を重ね、その成果が金賞という形で実を結んだことは、大きな達成感につながりました。

④〔金井生の印象〕素直だなと思います。授業や学校行事に前向きに取り組み、相手の話をしっかり聞こうとする姿勢が見られます。また私が高校生だった頃と比べても、廊下ですれ違った際に挨拶をしてくれる生徒が多く、とても温かい雰囲気を感じています。実習生にも気さくに話しかけてくれる姿から、人との関わりを大切にする生徒が多いと感じました。このような素直さや思いやりは、金井生の大きな魅力だと思います。

⑤〔授業の感想〕実習を通して、教えることの難しさを実感しました。私は大学でマリンバを専攻しているため、ヴァイオリンの授業を担当するにあたり、改めて練習や教材研究を行いました。また、大学での模擬授業では音大生が相手だったため、理解の速さや音楽経験を前提に授業を進めていました。しかし実際の高校生を前にすると、生徒一人ひとりの理解度や経験に合わせて説明する必要があり、その違いを強く感じました。一方で、授業後に生徒から「分かりやすかった」と言ってもらえたときはとても嬉しかったです。

⑥〔実習中のエピソード〕実習中に最も思い出に残っているのは、最終日にクラスの生徒たちから色紙をもらったことです。私は授業を担当していなかったため、クラスの生徒たちと関わる機会は主にホームルームの時間に限られていました。それにもかかわらず、私のためにメッセージを書いてくれたことがとても嬉しく、温かい気持ちになりました。限られた関わりの中でも、生徒たちとのつながりを感じることができた出来事でした。

⑦〔全体の感想〕実習が始まる前は不安で仕方ありませんでしたが、始まってみるととても楽しく、3週間があっという間に過ぎていきました。大学で行っていた模擬授業よりも、実際の生徒と関わる授業は何倍も楽しく、教員という仕事の魅力を改めて感じました。また、生徒の皆さんや先生方がとても優しく接してくださり、充実した実習生活を送ることができました。さらに、想像していた以上に生徒たちと打ち解けることができ、仲良くなれたことも嬉しかったです。

実習生の皆さん、教育実習、お疲れ様でした。実習での苦労や楽しい様子、生徒の皆さんとの交流など、充実した日々であったことが伝わる文章をありがとうございました。きっと、それぞれにとってかけがえのない日々になったことと思います。これからも、教壇に立つ日を目指して頑張ってください。